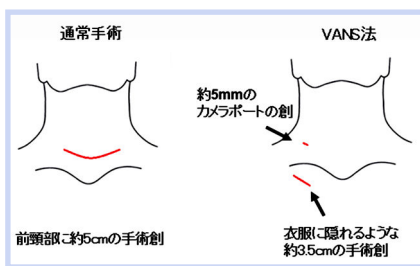


## 甲状腺鏡視下手術について

良性腫瘍、バセドウ病に対する鏡視下手術(VANS法)を、当院でも行えるようになりました。

甲状腺の病気で手術の対象となるものは良性腫瘍、悪性腫瘍、バセドウ病が挙げられます。しかし、手術をすることで頸部に大きな傷が残ってしまうことが問題でした。特に良性腫瘍の場合や若い女性の場合には手術を躊躇するには十分な理由となってきました。その問題点に向き合う手術として甲状腺鏡視下手術が先進医療という形で1998年から行われてきました。この手術は安全でかつ美容面でも優れていると評価され、昨年4月によりやく良性腫瘍、バセドウ病に対しての鏡視下手術が保険医療となりました(悪性腫瘍は適応外)。当院でも今年4月に施設認定を取得し甲状腺鏡視下手術を行うことができるようになりました。



当院で行うVANS法(Video assisted neck surgery)は、鎖骨の下から頸部へ向かい、皮膚を吊り上げて手術を行います。甲状腺をどの視点で見るとかという違いはありますが、手術の流れはほぼ変わりません。そのため今までの手術と変わらない良い成績を収めています。また、頸部に傷が残らないことは、この上ない長所といえます。胆沢病院では東北地方でいち早くこの手術を導入しました。良性のしこりでも目立って気になる方、バセドウ病で手術が必要と言われたものの首に大きな傷が残るので手術したくないという方の悩みを解決する治療手段になる可能性があります。

年齢や性別は問いませんので、甲状腺にしこりをお持ちで鏡視下手術を希望される方は、胆沢病院外科の外来を受診してみてください。もちろん相談だけでも構いません。甲状腺外来は毎週火曜日となっておりますが、都合がつかない場合には他の曜日でも対応致します。

岩手県立胆沢病院外科 谷村 武宏

### 岩手県立胆沢病院の基本理念

#### <基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

#### <行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療(専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

#### <病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療  
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏内の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療  
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援  
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療  
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育  
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。  
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

よろしく  
お願いします!

## 新任医師の紹介

① 専門分野 ② 趣味 ③ ひとこと

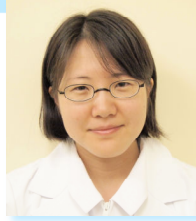
精神科長 平成29年5月1日付



おにざわ たみお  
鬼澤 民雄

- ① 一般精神医学（最近は認知症の比重が高い）
- ② 散歩
- ③ 赴任して地域の医療の重要部分を担う病院であることをひしひしと感じています。

臨時医師(外科) 平成29年7月1日付



かなぶち さわ  
金淵 佐和

- ① 一般外科
- ② 旅行、スポーツ観戦、読書、釣り
- ③ 2ヶ月と短い期間ではありますが、ご指導のほどよろしく申し上げます。

呼吸器内科

ごあんない

東北で5番目の導入！

～ 重症喘息患者に対して、気管支鏡を用いた新しい治療～

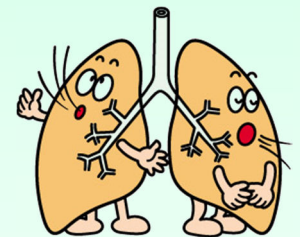
## 気管支サーモプラスチック 治療を開始しました

気管支喘息の治療は、吸入ステロイド薬を中心とした長期管理薬を使用することで、健常者と変わらない日常生活を送ることができることを目標としています。しかし喘息患者全体の5～10%程度は、複数の薬剤を使用しても喘息症状がコントロールできない重症喘息とされています。

そこで重症喘息患者に対して、気管支鏡を用いた新しい治療である「気管支サーモプラスチック」が2015年4月より保険適応となりました。気管支サーモプラスチックでは、気管支鏡に電極付きのカテーテルを挿入し、高周波電流にて気管支壁を温めることで、喘息症状の原因となる肥厚した気道平滑筋の量を減らすという、従来とは全く異なる治療法です。気管支全体を3回に分

けて治療することで、喘息発作の頻度や救急外来受診の回数が減ることが報告されています。

当院では2017年7月に1例目の治療を開始しました。気管支サーモプラスチックを行える施設は全国的にも限られており、東北の中では5番目の導入となりました。気管支サーモプラスチックは生涯に一回のみ行える治療であり、また適応にも条件があります。ご興味がある方や喘息治療に困っている患者さんがいらっしゃいましたら、呼吸器内科外来にご相談ください。



呼吸器内科医長 小野寺 克洋

# 5 階 病 棟



千葉看護師長、佐々木看護師長補佐とスタッフのみなさん  
(前列中央) (前列右から2人目)

看護師長 千葉 典子

5階病棟は整形外科・脳神経外科・皮膚科の3科を主にした急性期病棟です。整形外科では外傷性疾患や関節疾患・転倒などの骨折で手術

目的の患者さんが多く入院しています。脳神経外科においては脳出血救急患者さんを24時間受け入れ、脳血管治療を初め開頭手術・急性期リハビリテーションなど意識障害や麻痺、認知症を合併した患者さんの治療を行っています。また、皮膚科では熱傷や難治性褥瘡・感染性皮膚疾患患者さんなどが入院しています。

その中で、大腿骨頸部骨折地域医療連携クリニカルパスの活用や、退院支援カンファレンス・リハビリカンファレンスなどで地域・他職種連携を行い、ご本人やご家族の意向を尊重し、MSWとの協力で退院調整を行っています。

スタッフは若い看護師が多く、忙しいながらもお互いを尊重し信頼しながら「気配り・目配り・思いやり」の気持ちでチーム医療を実践しています。そして、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った医療が提供できるようがんばっています。  
(文責：看護師長補佐 佐々木 則人)

シリーズ

前号の感染管理認定看護師 小石さんからバトンタッチ!

## ひと から ひと へ



へびぐち まりこ  
蛇口 真理子

職名：主任管理栄養士（がん病態栄養専門管理栄養士指導師）

出身：盛岡市

経歴：平成13年採用。大東病院から北上、二戸を経て胆沢病院勤務。

趣味：マラソン



**Q. がん病態栄養専門管理栄養士・がん病態栄養専門管理栄養士指導師とは？**

**A.** がん病態栄養専門管理栄養士は、2014年に（公社）日本栄養士会・（一社）日本病態栄養学会が共同し、がんの特化した栄養専門職の育成を目的とした資格制度です。具体的には病期に応じた栄養サポート等を行います。認定者は2015年時点で、全国262名（県内5名）です。さらにはがん病態栄養専門管理栄養士を育成する指導師の制度もでき、認定者の拡大、スキルアップを目指しています。

**Q. 大切にしていることは何ですか？**

**A.** がんが進行してくると食べるのが難しくなってしまうこともあります。少量でもおいしく食べられることは患者さんだけでなく、家族にとっても安堵感になります。「おいしいを最期まで」を大切に食を通して患者さん・家族を支えていきたいと思っています。

**Q. 医療機関へひとことお願いします。**

**A.** がん病態栄養専門管理栄養士は開始されたばかりの資格ですが、皆様のご指導を頂きながら、がん分野のチーム医療の一助になれるように尽力して参りますのでよろしくお願い致します。



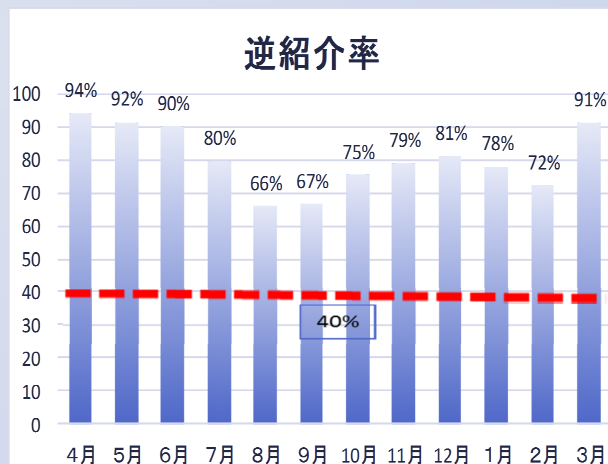
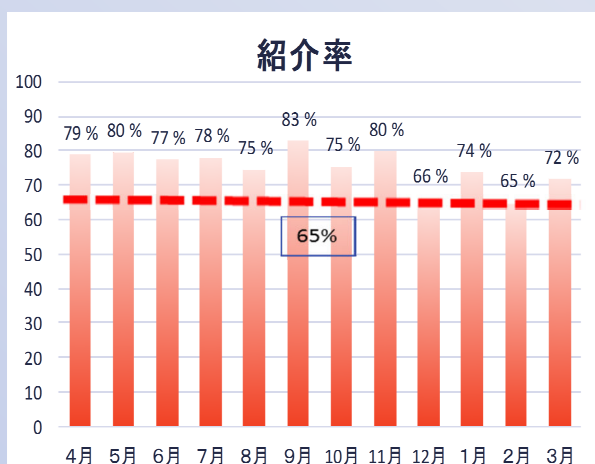
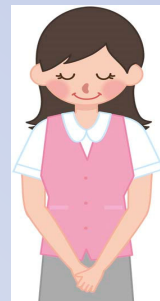
# 平成28年度 紹介率・逆紹介率の状況

当院は、平成26年12月1日付けで「地域医療支援病院」の承認を受けております。患者に身近な地域で医療を提供されることが望ましいという観点の元、地域の中核病院として各医療機関と適切な連携を図っていくよう努めております。そうした中で、紹介率、逆紹介率は、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医を支援する一指標として用いられており、地域医療支援病院の承認要件ともなっています。

○地域医療支援病院承認要件

地域医療支援病院紹介率、逆紹介率がア～ウのいずれかを上回っていること。

	地域医療支援病院紹介率	地域医療支援病院逆紹介率
ア	80%	---
<b>イ</b>	<b>65%</b>	<b>40%</b>
ウ	50%	70%



皆様のご協力のおかげで、昨年度の紹介率・逆紹介率が承認要件を満たすことができました。今年度も患者様の紹介・逆紹介についてよろしくお願いいたします。

## お盆期間中の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当直医師による救急診療体制となります。

**8月14日（月）～8月15日（火）**

※救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いします。



**岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室**

〒023-0864

岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）

URL <http://www.isawa-hp.com/>